

和泉市教委

中3・小6に 全国学力調査を実施 コロナ禍の中で授業よりも調査優先？

国は中止を決定

和泉市教委は、全国学力・学習状況調査（学テ）を、9月末までに実施するように校長会に求めました。市教委は、実施の目的を、「学テのデータを学力向上のために活用するため」としています。しかし、今必要なのは、データではなく、長い休業を経験してきた子どもたちと向き合うことで見えてくる課題に、学校として何ができるかを考えることではないでしょうか。

文科省は、4月17日に「新型コロナウイルス感染症にかかるその後の状況及び学校教育への影響等を考慮し、今年度は全国学力・学習状況調査を実施しないことといたしました。」と中止の決定をしています。その上で、「なお、使用する予定であった問題冊子等は、各自治体や学校の判断で有効に活用していただけるよう、後日、各教育委員会及び学校等にお送りすることを予定しています」とも通知しており、市教委は「有効活用」としての実施を求めているものと思われま

強制的な実施は「有効活用」か

しかし、国が「学校教育への影響等を考慮し」中止

現場の声を尊重して！

6月によく学校が再開しました。現場は子どもたちの健康や安全に注意を払いつつ、遅れている授業を少しでも取り戻そうと、各校で工夫しながら授業を進めています。今、求められるのは、不要・不急の調査ではなく、各校で児童・生徒の実態をリアルに把握し、各校の教育課程を編成していくことではないでしょうか。



中学校使用教科書を決める 教育委員会会議の日程

忠岡町

7月29日(水) 9:30
忠岡町役場

和泉市

7月30日(木) 13:30
和泉市コミセン

高石市

8月12日(水) 13:00
高石市役所

それぞれの行政区に、民主的な採択をもとめる要請書を提出しています。

府教委は、教育委員会（6月19日）

で、今年度の中学3年生の高校入試に、中学2年生で受けた昨年度のチャレンジテストの結果を用いることを決めました。

6月に予定していた3年生のチャレンジテストが、新型コロナウイルスの影響で中止になったことを受けての措置ですが、

①2年次のチャレンジテストが、学年を超えて3年の調査書に評価に影響すること、
②2年次のチャレンジテストが2・3年2つの学年の調査書に評価に影響すること、
③2年次実施時に3年で使うことは示し

中2のチャレテを入試に活用 1年以上前のテストが進路を左右



「目的外」の用い方であること等、多くの問題を含むものです。チャレンジテストに固執し、2年次のチャレンジテストを反映させることは、子どもたちの1年間の成長と、学校教育そのものの意義を無視するものです。長い休校を経て、やっと始まった新しい1年への期待と努力を、裏切るものであり、断じて許せません。